



さぁ梅雨明け、夏本番の始まりです！今年の阿蘇地方は例年より2週間ほど早い梅雨明けでした。三男が生まれたばかりの我が家にとっては、洗濯物が乾かないイヤ～な梅雨でしたが、稲にとっては恵みの雨。目を見張るほど青々とたくましく育っている姿に思わず感心してしまいます。その梅雨が明けたかと言えば、ここ数日猛烈な暑さが続いています。気候の変化が極端になってきている気がするのはいずれだけでしょうか？

阿蘇に越してきた当初は、梅雨の激しさに驚きました。東京に住んでいる頃は、「しとしとと降る」と表現するのがぴったりだったように思います。ところがこちらの梅雨は「ぎーぎー」でもまだ足りず、「どばーっと叩きつけるように」降るのです。それも毎日。さすが南国、と当初は思ったものでした。毎年それなりに激しいのですが、今年はまた特に激しかったような気がします。その激しい雨で、アイガモ小屋やわが家の土間にまで浸水し、田んぼにせっかく撒いた米ぬかやコイもだいぶ流されてしまいました、トホホ…。そんな時の最後の手段はもちろん人間！今年のお米は「三児の父・耕太の草取り農法」とでも呼びましようか（笑）。無農薬栽培は、草との終りなき戦いともいえるのです。

コイの方は立派に役目を終えて、田んぼから引き上げられることになりました。7月に入ると、発生するガス（土の中にあつた有機物が発酵して出るもの）を抜くため、一旦田んぼの水を抜きます。そのままにしておくとコイの干物になってしまうので、水を抜く前に田んぼから出してあげるといわけです。以前から「恋つかみ」として、イベントにしようと思案を練っていたものを、今年ついに実現。独身の若者に声をかけたところ、来た、来た。たくさんの水着が…、と思いきや、結婚できるようになるまであと10年以上待たなきゃいけない児童ばかりでした（笑）。農村に住んでいても、子供たちが田んぼに入れる機会はめったにないため、嬉しそうな声をあげながら、次々と集まったコイを捕まえてくれました。助っ人が来て省力化かと思いきや、コイをつかむのに夢中で稲が踏み倒されていくではありませんか！結局その分は減収、植えなおしの手間だけがかかったような…。まぁ、子供たちへの教育の一環と思えば、それもまたとても意味のあることだということで、なんとか納得するしかありません。来年はもう少し対象年齢を上げないと。





雑草を一通り抑えたら、次は追肥。なたねの油粕を田んぼに撒きます。炎天下の中、肥料を背負って足場の悪い田んぼの中を歩いて回るのはかなりの重労働。仕事が終わると、せっせと(?)ビールを飲んでいるにもかかわらず、コウタは冬に比べて5kg体重が減りました。田んぼダイエットをご希望の方は、ぜひお申し出下さい。

さてさて、お米以外の話題も。6月25日には「牛の子市」がありました。我が家からは2頭をセリに出荷しましたが、思うように値が上がりません。買い手である肥育農家も、飼料の高騰で仕入れを控えているところも多いようです。牛の子を売りに出すだけでも、人間の子を出産したばかりの私を切ない気持ちにさせましたが、ましてや高く売れないなんて腑に落ちない!国産の、しかも広々とした草原で元気に育った牛なのですから、もっと評価をされてもいいはず。いつか牛も自分たちの手で産直するのが私の夢です。赤みが多いとはいえ、なんとなく草原の香りがしておいしいんですよ、あか牛。



キュウリの苗も植えました。今年は出産等ですっかり遅くなってしまいました。約800株の苗を植えて、竹でつくった支柱をたてます。2歳半になった上の子供たちが手伝うとあって、張り切って軽トラックに乗り出かけていきました。農作業が大好きで土いじりが好きな連蔵。すぐ飽きて虫を捕まえたり、お父さんにちょっかいを出したりする桔平。双子でも全く性格が違うので、かなり面白いです。マイペースな三男・讃太郎は、すくすくと、いえ、ぶくぶくと驚くような勢いで大きくなっています。双子の時に二人分出していた私のお乳を独り占めしているからでしょう。1ヶ月で約2キロも体重が増えていました。お兄ちゃんたちもすごくかわいがってくれるのは嬉しいのですが、砂遊びした手でなでなで。よだれをいっぱいつけてチュー。下の子の方がたくましく育つわけですね。



気温が上がり蒸し暑くなると、お届けしたお米の品質が悪くなり、場合によっては虫やカビなども発生する可能性も無いとは言えません。もし可能であれば冷蔵庫で密封保管を、それが無理ならできるだけ涼しいところで保管していただくと、生産者としても嬉しい限りです。



これからは、稲にとって妊娠期間中ともいえる大事な時期。栄養がしっかりつまった元気な子供たち = お米を出産できるよう、しっかりと見守っていきます。なんとなんと新米の収穫まであと約2ヶ月!気を抜かずがんばります。皆さまもどうか夏バテなどなさないで下さいね。